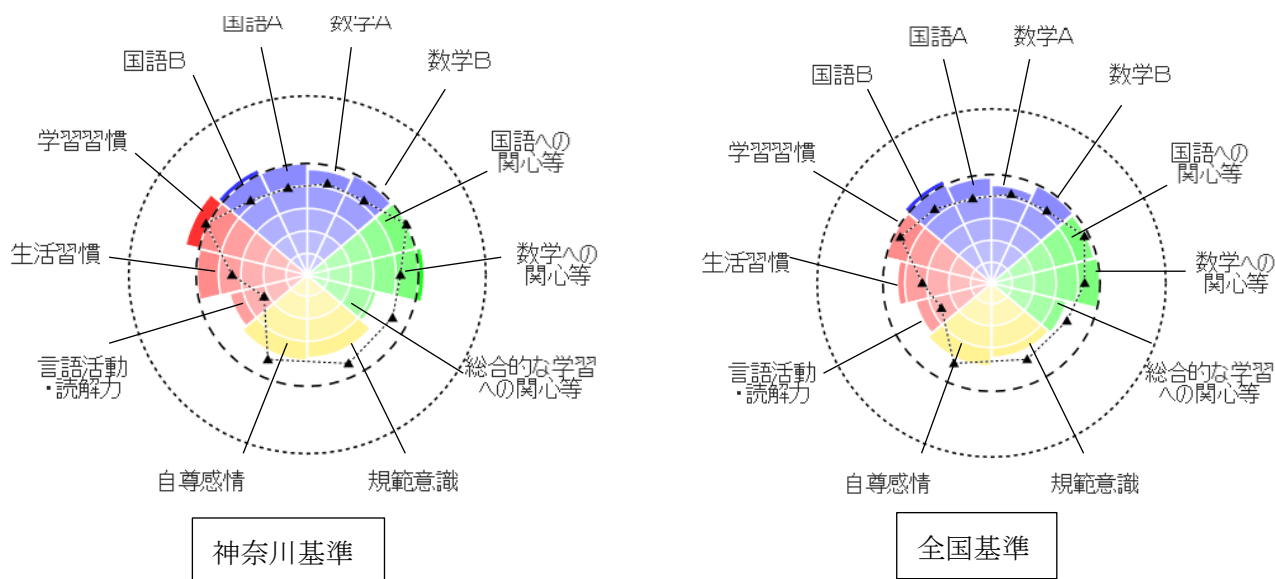


平成29年度 全国学力・学習状況調査（大鳥中の結果）

4月18日に、3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果概要をお知らせします。

平成29年度の調査結果に、昨年度実施した調査結果を重ねたグラフ



(※黒三角・黒破線は昨年度の調査結果を示す。)

●全国の正答率と比較して結果に特徴のある主な問題

国語 A 「全国よりもポイントが上回った問題」

- ・それまで頑張ってきた様子が読み手により伝わるように、「頑張る」とは別の表現を使って書き直す。
  - ・詩の特徴について説明したものとして適切なものを選択する。
  - ・漢字を読む。(鮮やかな 色合い)
  - ・適切な敬語を選択する。(先生もこの書店をよく ご利用になる のですね。)
  - ・適切な接続詞を選択する。(私は映画が大好きです。ただし、映画なら何でも見るわけではありません。)
- 「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す。(あやしう) → (不思議と)

「全国を10ポイント以上下回った問題」

- ・楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する。(速く書くことができる。)

「無回答率が高かった問題」

- ・漢字を書く(組織の キボ を大きくする)

国語 B 「全国よりもポイントが上回った問題」

- ・けん玉についてのスピーチの中で、よりわかりやすいスピーチになるように同じ動作の実演を3回行った意図として適切なものを選択する。
- ・聞き手が話し手に伝えようとしていることとして適切なものを選択する。(2回目の実演の直前にも見るポイントを示すと良い。)
- ・「走れメロス」のさまざまな読み方について紹介するために、アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした

内容や載せることで興味をもってもらえると考えた理由を書く。

「全国を10ポイント以上下回った問題」

- ・地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す。

数学 A 「全国よりもポイントが上回った問題」

- ・立方体の見取り図を読み取り、2つの線分の長さの関係を読み取ることが出来る。
- ・n角形の1つの頂点から引いた対角線によって分けられる三角形の数を選ぶ。
- ・線香が燃えるときの時間と長さの関係を表したグラフをもとに、2cm燃えるときの時間を選ぶ。

「全国よりも10ポイント以上下回った問題」

- ・ $10 - 6 \div (-2)$  を計算する。
- ・3月25日を基準として3月23日を負の数で表す。
- ・錯角の位置にある角について正しい記述を選ぶ。
- ・比例のグラフから式を求める。

「全国と同様に課題がある問題」

- ・長方形の縦の長さや面積の関係を、「・・・は・・・の関数である」という形で表現する。

数学 B 「全国よりもポイントが上回った問題」

- ・与えられた式から、aの変域に対応するhの変域を求める。
- ・点Dと点EをBD=CEの関係を保ったまま動かしたとき、∠BFDの大きさについて、正しい記述を選ぶ。
- ・一週間の総運動時間が420分の時、含まれる階級の度数を求める。

「全国と同様に課題がある問題」

- ・「420分未満より420分以上の女子のほうが、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特長を基に説明する」
- ・六角形を n 個つくるのに必要なストローの本数を、 $6 + 5(n - 1)$  という式で求めることができる理由を説明する。

「無回答率が高かった問題」

- ・与えられた表やグラフを用いて、貯水量が1500万㎡になるまでに5月31日から経過した日数を求める方法を説明する。

●生活習慣・学習習慣（質問紙調査結果）（%）

（設問に対して「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「そう思う」「どちらかといえばそう思う」（「きちんと守っている」「だいたい守っている」と答えた生徒の割合）

	大鳥中	神奈川県	全国
自分には良いところがあると思いますか。	58.4	68.8	70.7
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	37.5	51.7	50.5
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	68.7	84.0	86.0
「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	39.6	62.9	64.3
1, 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。	51.1	69.9	71.3
1, 2年生の時に受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて、ねらい）とまとめを書いていたと思いますか。	48.0	68.2	76.0
携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	66.7	57.8	50.6

すか。			
-----	--	--	--

●調査結果から

- ・昨年度と比べて、国語・数学ABともに学力が伸びている。
- ・昨年度と比べて、学習習慣が定着した生徒が増えた。
- ・自尊感情、規範意識の向上が依然として課題である。
- ・全国値と比べて平日就寝時間が遅い生徒が多い。
- ・全国値と比べて、友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意だと考える生徒が少ない。
- ・全国値と比べて、授業で、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと考える生徒が少ない。
- ・全国値と比べて、授業で、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと考える生徒が少ない。
- ・全国と比べて、授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う生徒が少ない。
- ・全国値と比べて、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて、ねらい）とまとめを書いていたと思う生徒が少ない。
- ・全国値に比べて、先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないことについて、わかるまで教えてくれると思っている生徒が少ない。
- ・全国値と比べて、地域の行事に参加している生徒の数は多い。

●授業改善に向けて

- ・学習への意欲・関心は各教科とも比較的高く、学習の意義を理解している生徒の割合も高い。また、授業以外で、学習に取り組む（塾も含む）時間も全国平均と比較して高い。しかし、正答数分布をみると、依然として基礎基本の定着に課題がある生徒が多い。また、生徒間で話し合う活動により、自分の考えを深めたり、広げたりできていると感じている生徒の割合が低い。今後の課題としては、生徒の意欲・関心を継続的な学習につなげ、より基礎・基本の充実を図ることであると思われる。そのための手段としては、①授業のはじめに、目標（めあて、ねらい）を示し、課題を明確にすることで、課題解決的な学習の視点を持たせ、達成感をもたせること、②学級やグループの中で課題について話し合う活動を取り入れることによって、学習を深めたり、わからないところを教えあうなどの学習環境づくりをすすめる、③継続的な学習支援として、学生ボランティアの協力も得ながら、授業や放課後等、生徒が気軽に相談できる環境をデザインしていく。